

平成29年度 大阪府立大学 授業公開講座(前期)

番号	講座名	講師	曜日	コマ	開講日	定員
1	公衆衛生学 I ★	星 英之	月	1	4月10日	20
2	中国古典語 I	大平 桂一	月	2	4月10日	5
3	中国の思想	大形 徹	月	3	4月10日	5
4	医療福祉論	山中 京子	月	3	4月10日	10
5	ジェンダーとヨーロッパ文化	村田 京子	月	4	4月10日	15
6	ことばの意味と文化	宮畑 一範	月	4	4月10日	5
7	共生社会と宗教 ★	秋庭 裕	火	3	4月11日	5
8	ドイツ語中級C I (読解)	兼田 博	火	3	4月11日	5
9	教育福祉学への招待	嵯峨 嘉子	火	4	4月11日	10
10	家族社会学	田間 泰子	火	5	4月11日	10
11	科学の思想	斎藤 憲	水	2	4月12日	35
12	公的扶助論	嵯峨 嘉子	金	1	4月14日	5
13	環境生物学	中山 祐一郎	金	2	4月14日	10
14	地域福祉論A	小野 達也	金	3	4月14日	10
15	心の病理学	総田 純次	金	4	4月14日	5
16	植物工場科学	和田 光生	《夏期集中講座》 8月8日(火)～10日(木) 1～5コマ		10	

【1コマ】9:00～10:30 【2コマ】10:40～12:10 【3コマ】12:55～14:25 【4コマ】14:35～16:05

【5コマ】16:15～17:45

会場 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス 各教室

※車両での来学はご遠慮いただいておりますので、公共交通機関をご利用ください。

対象 どなたでも(全期間を通じて受講できる方) ★は受講条件あり

受講料 1講座 3,000円(予定)

(一旦お支払いいただいた受講料は返金いたしかねますのでご了承ください)

申込方法 「ハガキ」又は「Eメール」に、①ご希望の講座名(1講座のみ)、②氏名(ふりがな)
③年齢 ④郵便番号・住所 ⑤電話番号 ⑥このチラシの入手先 をご記入の上
2月28日(火)《必着》までに、下記宛先へお申込みください。

※申込者多数の場合は抽選にて受講者を決定します(結果については全員に通知いたします)

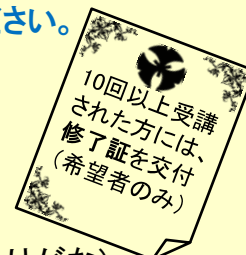
※お申込みは、お一人様2講座まで

申込先 〒599-8531 堺市中区学園町1-1

大阪府立大学 地域連携室「授業公開講座」係

e-mail: jkz29@ao.osakafu-u.ac.jp (半角英数)

問合せ先 TEL:072-254-9942(地域連携室) ◎ 講義概要については、中面をご覧ください。



大阪府立大学

授業公開講座

平成29年度 前期

平成29年 4月10日(月)～平成29年 7月28日(金)

各講座15回(予定)

この授業公開講座は、一部の授業科目を一般の皆様へ公開し、学生とともに授業を受けていただく講座です。



【講義概要】

講座番号 1	公衆衛生学Ⅰ〔現代システム科学域〕	星 英之 准教授
---------------	--------------------------	-----------------

公衆衛生学Iでは、ヒトが健康であるために必要な疾病予防に関する全般的な知識について学びます。その中でも特に、健康に関する概念、環境と健康、疫学手法、主要な疾病の動向とその実践的な対策、さらに高齢者、母子など領域別の保健対策に関する基礎的な考え方を身に付けることを目標とします。

★(注)平成28年度に受講された方は、ほぼ同じ内容の講義となるためお申込みはご遠慮ください。

講座番号 2	中国古典語Ⅰ〔高等教育推進機構〕	大平 桂一 教授
---------------	-------------------------	-----------------

中国の古典を中国語で音読し、味わいます。授業の初期に中国語の発音、文法を温習します。発音は私が作成した教材、文法は小川環樹先生、西田太一郎先生の『漢文入門』の枠組みを借りた教材を使います。中国語未修者も歓迎いたします。読む内容は、『史記』、『三国志』、『世説新語』、『資治通鑑』、『説文解字』、柳宗元の山水記、議論文、仏典などです。慣れしたしんだ漢文訓読と現代中国語による直読を併用します。現代中国語による直読は皆さんを作者の心理により近づけるものと確信しています。奮ってご参加ください。

講座番号 3	中国の思想〔高等教育推進機構〕	大形 徹 教授
---------------	------------------------	----------------

長い歴史をもつ中国では数多くの思想が生みだされ、日本人にも大きな影響を与えています。孔子や孟子の儒家、老子や荘子の道家、墨子の墨家、韓非子の法家などの思想はとても興味深いものです。同時に中国の人々が知らず知らずのうちに形成していった、いわば中国人全体の思想ともいえる死生観や魂魄概念(魂魄はどこにあるのか、魂の語源、肉体をぬけだす魂と髪型との関係、坐忘、体内に入りこむ悪霊、侵入する鬼霊、疾病観と魂、悪霊をはらう方法)などについても考察します。これらもまた日本人の生活や考え方に大きな影響を与えているのです。

講座番号 4	医療福祉論〔地域保健学域（教育福祉学類）〕	山中 京子 教授
---------------	------------------------------	-----------------

病気は人に身体的な苦痛や症状を与えるだけでなく、その人の心理状態、自己認識、家族関係、社会生活、将来の夢などにも影響を及ぼす包括的な経験です。それらをアサー・クラインマンは「病いの経験」と呼んでいます。本講義ではまずこの「病いの経験」を時間的な流れに沿って多角的に検討します。その上で、それらの経験をしている人にとっての周囲からの支援の意味について考えます。また、周囲からの支援として、家族や友人などの私的関係における支援と専門職からの「公的関係」における支援を比較して検討します。特に、学期の中盤からは、ソーシャルワーカーの支援に焦点づけ、いろいろな種類の病院におけるソーシャルワーカーの具体的な活動と役割を考察します。

講座番号 5	ジェンダーとヨーロッパ文化〔高等教育推進機構〕	村田 京子 教授
---------------	--------------------------------	-----------------

本講座では、おとぎ話(ペロー童話、グリム童話など)をジェンダーの視点から読み解いていきたいと思います。ディズニー映画でもおなじみの『シンデレラ』『眠れる森の美女』『赤頭巾』『白雪姫』などは、もともとは農民たちが夜、炉端で仕事をしながら代々伝えてきた口承民話でありました。それが時代とともに内容が変化し、文字になって物語として読まれてきました。おとぎ話の女主人公はそれぞれの時代、社会において理想とする「女らしさ」を体現しており、それがどのようなものであったのか、そしてどのように変化していくのかを、おとぎ話の歴史的変容を通して見ていきたいと思います。

講座番号 6	ことばの意味と文化〔高等教育推進機構〕	宮畑 一範 准教授
---------------	----------------------------	------------------

ことばの意味は、異なる言語間で見比べた場合、文化の違いと結びつけた相違点が強調されがちです。しかし、実は共通する部分も非常に多く、残念なことにこれまでそれは見過ごされたり、あるいは、過小評価されてきました。この授業では、英語と日本語を対象に(これまでの英語教育の中で、英語は日本語とは異なる言語なのだから、根本的に発想を変えないといけない、と刷り込まれている人が多いと思いますが)実際には共通する発想がいかに多いかを豊富な言語事実を踏まえて確認していきます。また、それが何を意味するかも考察していきます。毎回トピックを定め、英語と日本語とでいかに発想(の大元)が共通するかを確認します。授業の理解度を確認するために、毎回のトピックに関連する内容で、類例を探したり、それに基づいて考察をするなどの課題に取り組んでもらいます。

講座番号 7	共生社会と宗教〔現代システム科学域〕	秋庭 裕 教授
---------------	---------------------------	----------------

＜目標＞「グローバリゼーション時代の宗教」を考察します。

じつは、21世紀は「宗教の時代」です。今日宗教が分からなければ世界は分からないのです。21世紀、人類は異質との共生を樹立できなければ、未来は拓けません。このような視点から、今や宗教を理解することが決定的に重要です。

＜授業計画の概要＞
エスニシティと宗教
・国家と宗教
・近代における宗教
・宗教のプレモダン／モダン／ポストモダン
・グローバリゼーション時代における宗教の変容
・共生社会の必然性

★(注)平成28年度に受講された方は、お申込みはご遠慮ください。

講座番号 8	ドイツ語中級CⅠ(読解)〔高等教育推進機構〕	兼田 博 教授
---------------	-------------------------------	----------------

2年中級AⅠ・AⅡより高度なドイツ語読解力をやしない、ドイツで発行されたオリジナルな文まで対象範囲が広げられるような能力を養成します。かみくだいた中級の内容であれば理解できる能力を前提に、題材としてドイツで発行されたオリジナルな形の新聞・雑誌や、専門的な内容を論じた論文・書物をも視野に入れた題材を精読します。平成29年度前期はスイスの教育家ハインリヒ・ペスタロッツィ(1746-1827)の小説『リーンハルトとゲルトルート』(Lienhardt und Gertrud)を読みます。内容は貧しく実直で子たくさんの夫婦のエピソードを集めたものとなっています。比較的やさしいドイツ語です。

講座番号 9	教育福祉学への招待〔地域保健学域（教育福祉学類）〕	嵯峨 嘉子 准教授
---------------	----------------------------------	------------------

この授業は、教育福祉学類が取り組んでいる教育内容について、その基本的視座と概要を学んでいただくものです。教育福祉学類は、人々の尊厳を尊重し、人を中心とした生涯の発達支援・生活支援を行う力を育成しようとしています。この教育目的の達成には、さまざまな専門的立場の相互理解や協働が不可欠です。そこで、授業では学類教員がオムニバス形式で、それぞれの専門的立場から支援の必要性について講義します。テキストとして『教育福祉学への招待』(山野則子・吉田敦彦編、せせらぎ出版、2012年)を配布し、それを参照しながら授業を進めます。受講生は、テキストを授業の前後に読み、テキスト各章末と授業で示された参考文献を、各自でさらに読み進めることで理解を深めていただきます。

講座番号 10	家族社会学〔地域保健学域（教育福祉学類）〕	田間 泰子 教授
----------------	------------------------------	-----------------

今、家族は大きく変化しています。この授業では、(1)私たちのライフコースが家族とどのように関わるか、(2)戦後日本における社会と家族はどのように変化したか、(3)これからの家族と社会はどのようにあるべきか、を学びます。テキスト(※)内容を解説する授業と、受講生が課題について意見を出し合う授業を1セットとして進めます。受講生は、テキストを購入し、予習としてテキストを読んでおく必要があります。授業後にはテキストを読み直し、理解をより深めてから、出された課題について調べたり意見をまとめるなど、課題に取組んでいただく必要があります。※『問いからはじめる家族社会学－多様化する家族の包摂にむけて』(岩間暁子・大和礼子・田間泰子著、有斐閣、2015年)

講座番号 11	科学の思想〔現代システム科学域〕	斎藤 憲 教授
----------------	-------------------------	----------------

(1)ギリシャの自然学と17世紀の「科学革命」、(2)19世紀の「第2の科学革命」を扱います。(1)17世紀の近代自然科学の成立(科学革命と呼ばれます)は、自然現象を数学的法則が支配しているという信念にもとづきます。最初にアリストテレスが集大成した古代ギリシャの自然観を概観し、それが、16、17世紀にどのように転換していったのかを、宇宙論と運動論に焦点をあてて見ていきます。(2)19世紀の「第2の科学革命」の大きな特徴は科学の職業化です。科学研究が個人の趣味でなく、国家や企業が後援し、成果が期待されるものとなったのです。現代の科学技術のイメージの原型はこの時代にあります。この時代の重要な成果である電磁気学、エネルギーの概念の成立も扱います。

講座番号 12	公的扶助論〔地域保健学域（教育福祉学類）〕	嵯峨 嘉子 准教授
----------------	------------------------------	------------------

本講義は、社会保障制度の最後のセーフティ・ネットとよばれる生活保護制度の役割と課題について理解を深めることを目的としています。具体的には以下の内容を予定しています。
・公的扶助制度の概念、役割
・公的扶助制度の歴史的展開(日本)
・生活保護制度の基本的な仕組み(目的、基本原理および保護の原則、保護の種類と内容、生活扶助基準額の算定方式、給付の仕組みと手続、被保護者の権利及び義務、不服申し立て、実施体制および財源、等)
・生活保護制度をめぐる近年の政策動向
・生活保護制度の諸課題

講座番号 13	環境生物学〔現代システム科学域〕	中山 祐一郎 准教授
----------------	-------------------------	-------------------

人間の生命や生活を支える生物多様性の意義や重要性を理解するために必要な生物学の基礎を習得することを目標に、生物の進化と絶滅の歴史を軸にして、生物の系統、構造、代謝、生殖、遺伝、生物と環境との相互作用について講義します。また、各回のテーマと関連する話題(食品のリスク、廃棄物・汚水の処理、病気、寿命、毒物、iPS細胞と再生医療、外来生物など)を通して、身の回りの問題を理解する上で生物学の知識や科学的な思考が重要であることを説明します。

講座番号 14	地域福祉論A〔地域保健学域（教育福祉学類）〕	小野 達也 教授
----------------	-------------------------------	-----------------

地域福祉論Aの教育目標は、地域福祉の必要性や概念を理解することです。2000年以降、地域福祉は主流化したと言われていますが、その意味を考えます。講義の構成は3つに分かれています。はじめに、なぜ地域福祉が必要なのかを考察します。そのためには、現在の生活の仕組みやいかに社会福祉の対象が発生するかを学びます。次に、全体としての地域福祉を構築していくための枠組み、構成要件を考えます。最後に地域福祉に関する様々な考え方について検討します。地域福祉は、一部の人のためにあるのではなく、地域に住むすべての人に関わるもの、というのが基本的な姿勢です。

講座番号 15	心の病理学〔現代システム科学域〕	総田 純次 教授
----------------	-------------------------	-----------------

昨今、メンタルヘルスの重要性が強調されるようになり、保健所を中心としたうつ病や自殺予防対策、企業などでのメンタルヘルス管理の強化などの政策が施行されています。本講義では、将来臨床心理学を専攻する学生のみならず、比較的広い層を対象に、いわゆる「心の病気」について概説します。取り上げる予定は、認知症やせん妄といった高齢者に多い精神障害、統合失調症やうつ病という従来精神医学の主要な対象であった精神障害、20世紀の終わりごろからクローズアップされてきたパーソナリティ障害、精神分析の主なフィールドであった神経症、ベトナム戦争を契機に注目を浴びようになった心的外傷性障害などです。それぞれの精神障害について視聴覚資料も用いつつ病像や精神医学の一般的な知見を紹介したあと、講義者の専門領域である精神病理学や精神分析の立場からその心理学的メカニズムにも光を当てたいと思います。

講座番号 16	植物工場科学〔生命環境科学域〕	和田 光生 講師
----------------	------------------------	-----------------

完全人工光型の植物工場を主として、植物工場で植物を栽培する上で必要となる理論と技術について講述し、植物工場技術者として、あるいは応用技術研究者として必要となる知識の修得を目指します。植物工場の概要から始めて、植物生理学に基づいた環境調節法の基礎理論、各種要素技術、栽培技術、環境計測と制御、作業環境と作業負荷、栽培環境最適化法などについて説明します。受講に当たっては、高等学校卒業程度の生物学、物理学、化学および数学について理解できることが必要です。